

専門英語（4年） コーディネーター：病態生理学分野 佐原資謹教授
 歯科矯正学分野 間山寿代講師

第4学年 後期

後期 講義 13.5時間 演習 1.5時間

教育成果（アウトカム）（講義）

医学・医療のグローバル化、先進化にともない、歯科医学・医療についての情報を収集する場面、増加する外国人の歯科診療を行う場面など、様々な場面で、英語を用いたコミュニケーションを行うことが必要とされる。専門英語では、1) 医学の共通語としての医学（歯科）用語を学び、臨床実習のケースプレゼンテーションや歯科医師国家試験における“歯科医学、医療分野で必要とされる英語”に備えるとともに、2) 教養課程で学んだ英語をさらに発展させ、専門論文などを読む上に必要な読解力を習得することで、総合的なコミュニケーションスキルを高める。

（ディプロマ・ポリシー：7、8）

事前学修内容及び事前学修時間（30分）

シラバスに記載されている次の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

講義日程

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月29日(金) 4限 10月6日(金) 4限 10月13日(金) 4限 10月20日(金) 4限	James Hobbs 教授 (教養教育センター)	Chair side conversation 英語圏の患者に対し歯科治療を行う際に必要なコミュニケーション力を習得する。	1. 英語で問診ができる。 2. 英語で治療内容を説明できる。 3. 英語で患者と必要なコミュニケーションが取れる。
10月27日(金) 4限 11月10日(金) 4限 11月17日(金) 4限 11月30日(木) 4限 12月8日(金) 4限	臨床系講座(分野)の教員 歯科保存学講座 補綴インプラント学講座 口腔顎顔面再建学講座 口腔保健育成学講座 口腔医学講座	歯学の基本用語 臨床でよく使われる歯学用語を理解する。	1. 臨床でよく使われる基礎的な歯学用語を理解することができる。 2. 臨床でよく使われる歯学用語の成り立ちと基本構造を学ぶ。 3. 言葉の持つ意味を深く考える態度を身につける。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
12月13日(水) 4限	James Hobbs 教授 (教養教育センター) 佐原 資謹 教授 (病態生理学分野)	Chair side conversation と歯学の基本用語／演習	到達度評価試験

教科書・参考書 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書 名	著者氏名	発行所	発行年
参	Dental Terminology 3 rd ed	Charline M Dofka	Delmar Cengage Learning	2013年
推	Medical Terminology A short course 7 th ed.	Davi-Ellen Chabner	Saunders	2014年

成績評価方法

個々の英語力の多様なレベルに対応できるよう、ネイティブスピーカーによる対話形式の授業（教養教育センター教員担当）と、少人数のグループ学習（臨床系講座（分野）の教員等が担当）の形式でおこない、到達度評価試験により達成度と理解度を評価する。